

CMSKIT 実装にあたっての注意点

基本事項

(1) HTML 仕様

HTML は、HTML5 でも XHTML でも構いません。

ただしユーザーの編集領域内で、使用できるタグに制限がありますので、注意が必要です（後述します）。

(2) 文字コード／改行コード

UTF-8 でお願いします。改行コードはなんでも構いません。

(3) ファイル構造

トップページのファイル名は「index.html」でお願いします。

カテゴリごとにディレクトリを分ける際、そのディレクトリ内には必ず「index.html」という名前のファイルを含めてください（カテゴリのトップページ）。

画像を張り付ける際は、その HTML と同じ階層の「images」フォルダに画像を収めてください。

* 編集領域内に貼り付ける画像を対象としています。ヘッダ、フッタなど、共通部品で利用される画像は、その限りではありません。どこでも構いません。

PDF など、書類にリンクする場合は、その HTML と同じ階層の「documents」フォルダにファイルを収めてください。

* 編集領域内からリンクするファイルを対象としています。同じ PDF を、違う階層の HTML からリンクさせる場合は、どちらか一方がこのルールに従ってください。



CSS、JS などの配置ルールは、特にありません。

見出し (h1) のマークアップ

ページ内に<h1>でマークアップする箇所を 1 箇所、ご注意ください。

そこに入力された文字列が、ページタイトル、パンくずリストに利用されるような処理となります (原則的に)。



編集領域内でのルール

ページ内に、CMS 利用者が編集できる「編集領域」を設けてください (複数箇所でも構いません)。この「編集領域内」でお願いしたいルールがいくつかあります。ご配慮いただけたら幸いです。



(1) CMS 編集者は、原則としてソースコードを直接編集できません

お客様の運用ルールで、直接 HTML ソースコードを編集できなくしている場合があります。

従いまして、CMSKIT が編集で提供しているエディタ (CKeditor) 内で、利用できないタグがあったり、class 属性が思うようにつけられなかったりします。

(2) マークアップできないタグの例

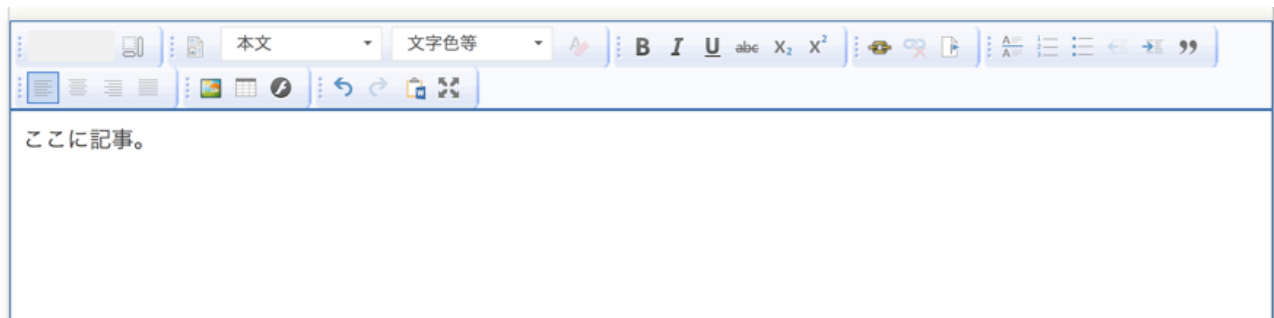
利用できないタグの代表例は、<dl>, <dt>, <dd> です。

これらは CMS のエディタから指定、追加をすることができません。

シンプルに、<h2>~<h6>の見出し、<p>, , , <table>, , <hr>,
 等で、文書を構成してください。

強調はがマークアップされます。

▼ エディタの画面



div タグで囲むような処理がされている場合、文字の編集自体は問題ないのですが、エディタから `<div>~</div>` のマークアップを挿入させることができません（今回は、すでに構築された環境に相乗りのため）。どうしても必要になるような状況であれば、別の処理で対処しますので、ご相談ください。

HTML5 で利用する以下の要素も、エディタ内では使用できないと思ってください（一例です）。

section、article、aside、nav などの領域指定

figure、figcaption などの図版参照指定

date、ruby などの文字処理

cite、small などの参照、注釈処理

video、audio などの埋め込み（iframe の埋め込みは可能）

(3) id 属性、class 属性がつけられません

CMSKIT 実装時に、記事の編集領域に内に id 属性、class 属性が付いた要素が存在しても構いません。ただし、CMSKIT の編集画面から、それら id、class が指定できませんのでご注意ください。

一例として、ページごとに見出しのデザインを変更する目的で、見出し 2 に class 属性がついていたとします。

```
<h2 class="overview">概要</h2>
```

編集画面上からは、この「class="overview"」を挿入することができませんので、これらを誤って削除してしまうと、「Undo」機能以外に元に戻す方法がありません。

従いまして、以下のような運用が望ましいです。

```
<div class="overview">
<!-- 編集領域開始 -->
<h2>概要</h2>
<p>~~~
<!-- /編集領域終了 -->
</div>
```